

会議録

会議の名称	令和4年度 第2回社会教育委員の会会議
開催日時	令和4年12月20日(火) 15:00~15:48
開催場所	イツカコミュニティセンター 3階 学習室303
出席委員	檜原 理香、井上 節子、山本 和生、仲野 優子、中野 靖彦
欠席委員	小田原 嘉朋、後藤 直巳、竹川 克幸、芹野 暢子、花岡 夏子
事務局職員	教育部長、生涯学習課長、文化課長、生涯学習課長補佐兼中央公民館長、文化財保護推進室長、中央公民館・図書館係長、生涯学習ひろば整備担当主査、穂波交流センター長、筑穂交流センター長、庄内交流センター長、颯田交流センター長、事務局担当
会議内容	<p>1 開会 15:00</p> <p>2 教育委員会あいさつ(教育部長) 本日は、本年2回目の社会教育委員の会の会議となり、議決事項が1件、報告事項が2件となっている。十分にご審議をいただければと思う。</p> <p>3 案件 1 議決事項 (1) 議案第2号 社会教育関係団体の登録について 配布資料に基づき事務局より説明 新規申請のあった1団体、継続申請のあった2団体について説明</p> <p>【質疑】 委員 新規申請の団体は継続申請ではないのか。 事務局 新規申請をされた団体は、総会が遅れたことにより申請が遅れ、登録期間が切れている。よって今回は、継続申請ではなく新規申請となっている。</p> <p>【採決】 原案のとおり決定</p> <p>2 報告事項 (1) 報告第6号 令和4年度生涯学習課・文化課事業進捗状況について配布資料に基づき事務局より説明 ●生涯学習係主管事業</p>

会議内容

- ・「体験活動事業」
令和元年度以来の開催、事業の概要説明
- 中央公民館・図書館係主管事業
- ・「コミセンまつり」
平成30年度以来の概ねコロナ前の形式での開催予定
- 文化振興係主管事業
- ・「飯塚新人音楽コンクール」
参加者、LIVE配信実施の報告

【質疑】

副委員長 飯塚新人音楽コンクールのアーカイブ配信をしているサイトを教えていただきたい。

事務局 Vimeo（ビメオ）という動画共有サイトである。

- (2) 報告第7号 令和4年度生涯学習体系について
配布資料に基づき事務局より説明
体系（案）を提示。今年度更新予定箇所の説明を行う。

【質疑】

副委員長 「現代的な課題への対応の遅れ」について、私自身の仕事柄、高齢者のスマートフォンに関するトラブルの相談を受けることが多い。相談を受けた際に、お近くの公民館でスマホ講座がないかご案内することがある。報告6号の資料で各交流センターのスマホ講座について記載があるが、例えば自分の住んでいる地域以外の交流センターのスマホ講座に参加することは可能なのか。

生涯学習課長 基本的に各交流センターで実施している講座はスマホ講座に限らず、地域の方を限定とした募集は行っていない。どちらから来られても参加いただけるようになっている。

副委員長 スマホ講座を受講しようとして問合せされた方が、自分が住んでいる地域の交流センターでスマホ講座がない場合は、他の交流センターで行っているスマホ講座を教えてくださいませんか。

生涯学習課長 スマホ講座に限らず各講座やサークル活動などの情報を共有しており、ご希望の講座等をご案内するように

<p>会議内容</p>	<p>している。</p>
	<p>副委員長 今後ガラケーのサービスが終了していき、需要が増えていくと思うので、注力していただければと思う。</p>
	<p>委員 各交流センターのスマホ講座の参加者はどれくらいいるのか。</p>
	<p>中央公民館・図書館係長 資料が手元になく明確な数字がお答えできないが、交流センターごとにおよそ10名程度だと思う。</p>
	<p>委員 定員はどのくらいか。先ほど、今後需要が増す話もあったので対応できるのかお聞きしたい。</p>
	<p>中央公民館・図書館係長 手元に資料がなく申し訳ないが、正確な数字が分からない。</p>
	<p>委員 資料に課題として事業の運営を担う人材の高齢化とあり、若い人材の積極的な運営への関与を促すとあるが、世代交代は進んでいるのか、高齢者の行き場は失われてしまわないのか、どんな取組みを今後考えているのかお聞きしたい。</p>
<p>生涯学習課長 高齢者の方々の参画される場面においては、生涯にわたって学んでいただけるようなサークル活動を従前から行っている。e-マナビという事業も実施しており、比較的高齢の方が活動なされている。熟年者マナビ塾という、学校や交流センターをステージとした事業も行っている。こういった社会教育活動の中で、高齢者の参画する場面を作っている。若い世代に対しては魅力ある講座などを実施し次につなげるように努めている。壮年層については、共働きのご家庭も多く、事業運営を担っていただくのは、難しい実態もある。ライフステージ別事業一覧を見ていただくと、青年期が事業的には手薄になっている。あらゆる世代に向けて事業を考えていく必要がある。</p>	
<p>委員 青年期向けの事業が少ないとのことだが、確かに中高生は地域行事に出にくい状況があると思う。学校では部活動の外部指導者が導入されたりしているが、例えば地域の指導者となり得る方のバンクを作るといったことは考えられないのか。</p>	

会議内容

生涯学習課長 いいづか生涯学習ボランティアネットワークという、小中学校や保育園、幼稚園などに知識、知見をお持ちの市民の方を登録し派遣する制度がある。派遣先としては、高校は対象となっていない。学校教育の過程までのところで実施しているのが実情である。一方で生涯学習のほかに、経済部のほうで高校生向けの人材育成プログラムを行っている。

副委員長 生涯学習の分野で学校教育課と連携しながら不登校の児童生徒の居場所づくりなどの事業はあるのか。

生涯学習課長 生涯学習課と学校教育課で連携しながら不登校児童対策事業は現時点ではない。

副委員長 私の出身母体は子ども会で、学校に行けていない子どもが子ども会の活動には参加してくれるようなことを見てきて学校以外にも居場所があれば良いなと思ってお尋ねした。

生涯学習課長 単位子ども会や市子連の活動は、おっしゃられたようなものに繋がっていくと思う。

副委員長 報告第 6 号の資料になるが、各交流センターで講座やサークルの取組みがあるが、交流センターによって講座数などにバラツキがあるのは何か理由があるか。

生涯学習課長 資料の講座数が突出しているところは、連続講座を実施している交流センターである。連続講座の実施が一つの原因だと思う。旧町で実施していた高齢者大学を現在まで継続しているところもあり、旧町の名残や交流センターの手法によって偏りが少しでてきている。一方で交流センターはまちづくり協議会の事業も行っており、そちらの方とのバランスも考えながら事業を実施している実態がある。

副委員長 ライフステージ別事業一覧で青年後期への事業が少ないが、飯塚市は大学密集地で情報系に強い部分もあるので、将来オンライン化を進めたいのであれば大学生にアイデアを出してもらおうなどすればいいと思う。

生涯学習課長 一部の交流センターではプログラミング教室を実施し

<p>会議内容</p>	<p>ており、九工大の学生のなかで情報支援士の資格を取られた方々を指導者として招聘している。当課の方でも、穂波支所の3階を改修して子ども体験型キャリア教育等生涯学習ひろばとして整備している。ここにおいても、大学生にご協力いただく事業を検討している最中である。</p> <p>4 その他</p> <p>副委員長 委員の皆さんの所属団体等でコロナ禍での活動等があれば教えていただきたい。</p> <p>委員 文化際を行った。コロナ禍により今までは会場を二か所にしていましたが今回は一か所にした。今後内容を充実させていきたい。</p> <p>委員 不登校の子どもたちが通う子育てオアシスというところで、学習支援をしている。飯塚市でもかなりの数の不登校の生徒がいるが、常時オアシスに通っている子どもは10名にも満たない。最近は小学校の不登校児童が増えて、相談件数も増えている。オアシスは基本的には中学生を対象にしており、小学5年生から受け入れはしているが、サポーターの数にも限りがあり多学年にわたると指導も難しい状況にある。</p> <p>副委員長 子ども会ではコロナ禍で事業が全くできていなかったが、12月初めにカルタ大会を規模縮小して感染対策をしつつ実施した。4月には子どもまつりも規模縮小して行う予定である。</p> <p>5 閉会 15:48</p>
<p>会議資料</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 会議次第 ・ 社会教育関係団体の登録について ・ 令和4年度生涯学習課・文化課事業進捗状況 ・ 令和4年度生涯学習体系 ・ ライフステージ別事業一覧表（要約版） ・ 令和4年度飯塚市小中学校PTA連合会教育講演会 癒しを届ける、自分応援コンサートチラシ
<p>公開・非公開の別</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/> 1 公開 2 一部公開 3 非公開 (傍聴者0人)</p>
<p>その他 (非公開理由等)</p>	

